

第2回京丹後市網野まちなか再生・活性化協議会 会議録

- 1 会 議 名 第2回京丹後市網野まちなか再生・活性化協議会
- 2 開 催 日 時 令和8年9月11日（金）午後7時00分～午後9時00分
- 3 開 催 場 所 京丹後市役所網野庁舎ら・ぽーと2階会議室
- 4 出 席 者

（1）委 員

平松隆夫、梅田和男、藤田政巳、柴田隆行、山崎高雄、山口正彦、福島健智、平正彦、
田中智子、田茂井勇人、八隅孝治、志水美咲、吉岡高博、野村仁美、野村明宏、谷口隆亮、
大槻美穂子、奥野嘉郎、水口慎太郎、吉野航平

欠席6人（吉岡敬恭、小松裕美子、小嶋俊、福島和彦、谷口輝、小石原正志）

（2）アドバイザー

志摩幹一郎、大滝雄介

（3）事務局

市長公室政策調整監 川口誠彦、網野市民局長 松本智子、同局 棕平哲朗
建設部長 中川正明、都市計画・建築住宅課長 井上浩一、同課 橋智子
都市・地域拠点整備推進室長 安田悦雄、同室 石井真澄、同室 楊川優太

（4）その他

京都府立丹後緑風高等学校 網野学舎 安味穂果、中村萌咲

5 次 第

（1）開会

（2）アドバイザー紹介・講話

ア 紹介

イ アドバイザーからの講話

（3）事務局からの説明

ア 前回（第1回）の振り返り

イ 本日の進め方

（4）ワークショップ

ア キーコンセプトの継続議論・方向性の決定

イ 利用シーンの検討

ウ 発表

（5）その他（次回開催予定）

6 閉会

7 公開又は非公開の別 公開

8 傍聴者 2人

9 要旨（議事経緯）

開会

<事務局>

定刻となりましたので、ただ今から、第2回「京丹後市網野まちなか再生・活性化協議会」を開会します。委員の皆様におかれましては、公私とも大変お忙しい中、ご出席くださいまして、誠にありがとうございます。私は、本日議事に入りますまでの間、進行をさせていただきます、京丹後市建設部の中川でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

まず、お配りしております資料の確認をさせていただきます。

「次第」、資料1「網野まちなか再生・活性化協議会名簿」、資料2「アドバイザー講話資料」、資料3「事務局説明資料」配布資料の揃っていない方はいらっしゃいませんか。

はじめに、本日、本協議会のアドバイザーとしてご参画をいただいておりますお二人のご紹介をさせていただきます。まず、株式会社ウッディーハウス 代表取締役社長、志摩幹一郎様でございます。続きまして、株式会社大滝工務店 代表取締役、大滝雄介様でございます。お二人とも、舞鶴市を拠点に事業をされておりますが、本日は網野までお越しをいただいております。後ほど、経歴等の紹介、講話をいただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

また、前回第1回目にご欠席でしたが、本日からご参加をいただいております委員を紹介させていただきます。まず、網野コミキタ会 代表者 藤田政巳様でございます。続きまして、株式会社橘商店 代表取締役 吉岡高博様でございます。続きまして、株式会社丹後野村牧場 野村仁美様でございます。続きまして、谷芳農園 谷口隆亮様でございます。

本日からどうぞよろしくお願いいたします。

つづきまして、委員の交代についてご報告いたします。北都信用金庫からご推薦いただき委員としてご参画いただいていた真柴好雄様のご異動に伴いまして、新たに網野支店長に着任された水口慎太郎様に今回より委員としてご参画いただいております。

お時間の都合上、大変恐縮ではございますが、委嘱状につきましては席上配布とさせていただきますことを、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

水口様、これからどうぞよろしくお願いいたします。

さて、本協議会につきましては、京丹後市網野まちなか再生・活性化協議会設置要綱第6条第2項の規定により、協議会は委員定数の過半数が出席しなければ開会することができないと定められています。本日、浅茂川・磯地区地域づくり協議会 代表者 吉岡敬恭様、京丹後宿おかみさんの会 座長 小松裕美子様、小嶋庵 代表者 小嶋俊様、まるふく産商株式会社 代表取締役 福島和彦様、株式会社丹後企画 ディレクター 谷口輝様、NPO 法人網野スポーツクラブ 会長 小石原正志様の6名におかれましては、本日、所用にてご欠席でございます。

そのため、本日は委員定数26人のうち、20人の委員の皆様にご出席をいただいておりますので、本協議会の開会の要件を満たしておりますことをご報告申し上げます。

それでは、開会にあたり平松委員長、ご挨拶をいただきたいと存じます。どうぞよろしくお願い

いたします。

<委員長>

皆さんこんにちは。本日は、第2回網野まちなか再生・活性化協議会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。

前回、第1回では、網野の現状把握や、跡地活用で目指す姿について、皆様から本当に多くのご意見をいただきました。あの時出していただいた言葉の一つひとつを、今日、キーコンセプトという形につなげていけたらと思っております。

本日は、アドバイザーのお二方にも参加いただいておりますので、お二方のお話もお聞きし、それを念頭に置いた上で、前回の続きから、キーコンセプトの暫定決定、そして利用シーンの検討へと進めてまいりたいと思います。

2回目ということで、少し場の空気にも慣れてこられたのではないかと思います。引き続き、忌憚のないご意見をいただければと思いますので、今日もどうぞよろしくお願いいたします。

議事

<事務局>

平松委員長、ありがとうございました。さて、ここからは、議事に入らせていただきますので、平松委員長に議長をお願いしたいと思います。平松委員長よろしくお願いいたします。

<委員長>

それでは、ここから議長を務めさせていただきます。

委員の皆様方には、議事のスムーズな進行にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。なお、ご発言の際は、挙手いただき、議長指名の後にマイクでご発言いただきますようお願いいたします。お手元の次第に従いまして、進めさせていただきます。

では、次第2「アドバイザー紹介・講話」及び次第3「事務局からの説明」、次第4「ワークショップ」でございます。3つ続けて、事務局から説明及び進行をお願いします。

<事務局>

本協議会にアドバイザーとしてご参加いただいているお二人をご紹介します。

まず、株式会社ウッディーハウス 代表取締役社長、志摩幹一郎様でございます。志摩様は、舞鶴赤れんがパークの指定管理に参画されているほか、2024年には、閉館した市の公共施設をリノベーションし、アパレルや展望カフェ、サウナなどを融合した複合商業施設「atick（アティック）」を手がけられるなど、拠点整備とエリア活性化を実践しておられます。

続きまして、株式会社大滝工務店 代表取締役、大滝雄介様でございます。大滝様は、西舞鶴を拠点に、大滝工務店の事業のほか、ゲストハウスやチャレンジ・カフェバーの改修・運営、そして地域の方が主体となって関わる運営母体づくりを、実践されており、地域商社「合同会社HOUKO」の設立などにも取り組んでおられます。

お二人とも、舞鶴を拠点に、公共性のある取組についてもビジネスとして持続可能な形で実現

してこられた実践者でいらっしゃいます。本日は、それぞれのお立場から、貴重なお話を頂戴したいと思います。それでは早速ですが、まず志摩様より、講話をお世話になります。

～ 志摩アドバイザーの講話～

<事務局>

ありがとうございました。続きまして、大滝様よろしく願いいたします。

～ 大滝アドバイザーの講話～

<事務局>

ありがとうございました。ここまでの説明について、質問はございますでしょうか。

～委員～

大滝さんのところでは、地域おこし協力隊の任期を終えた方が、その後もさまざまな形で地域に関わっておられるとお聞きしました。地域おこし協力隊の活動について、行政からミッションを設定されると思いますが、活動を進める中で、行政が求めることと、本人や地域側がやりたいことをどのようにすり合わせていかれたのか、また、任期終了後も活動が続いていくように、行政とはどのような関わり方をされたのか、教えていただけますでしょうか。

～アドバイザー～

私のところで任期を終えたのは一人なのですが、彼のミッションとしては、まず一つが学生の支援や人材育成という部分でした。これは、我々がやりたいことと行政がやりたいことが、ある程度一致していた部分です。もう一つ、地域の発信に関するミッションもあったと思います。そうした形で、行政が考える方向性と我々が考える方向性を、最初に大きく二つの軸として整理していました。その方向性については、ある程度こちらに任せていただいて、具体的にどう動くのか、教育や人材育成をどう進めるのかについては、我々に任せてもらおうという形で進めました。

また、市役所の中に席を一つ用意して、毎日そこに出勤するという形ではなく、「我々に預けてください」という形で活動を任せていただいたのも大きかったと思います。

その上で、毎月ミーティングを行いながら、活動の方向性を確認していくという形で進めてきました。

<事務局>

それでは、本日お聞きした話をこの後の議論に活かしていきたいと思います。それでは、早速、本日の議題に入っていきたいと思います。志摩様、大滝様ありがとうございました。本日のワークショップも見て回っていただきますので、適宜コメントもしていただけますと幸いです。それではここから担当が進行します。

<事務局>

本日はお集まりいただき、ありがとうございます。本日もよろしくお願いいたします。都市・地域拠点整備推進室の楊川です。本日の流れは、大きく3つでございます。1つ目に、前回の振り返り。2つ目に、キーコンセプトの検討。グループワーク・全体発表をとおして、暫定の方向性を固めます。3つ目に、利用シーンの検討。跡地がどんな場所になることを目指すのか、具体的な使われ方を考えてまいります。

～資料3に基づき事務局から説明～

<事務局>

ここまでの説明について、質問はございますでしょうか。

～質問なし～

<事務局>

それではここからワークショップに入らせていただきます。

～資料3に基づきワークショップを実施（会議意見は別紙）～

<事務局>

本日は誠にありがとうございました。それでは委員長にお返しします。

<委員長>

ありがとうございました。まだまだ、ご意見等多々あろうかと存じますが、時間の関係もありますので、本日はこの程度にさせていただき、次回以降、また積極的なご意見をいただきたいと思います。それでは、進行を事務局にお返しします。

<事務局>

平松委員長ありがとうございました。次回の日程につきまして、10月9日（金曜日）19時からの開催を予定しております。正式には改めてご案内させていただきますが、ご予約いただきますようお願いいたします。

それでは最後に、山崎副委員長からご挨拶をいただきたいと思います。と存じます。

<副委員長>

皆さん、本日はお疲れさまでした。そして、アドバイザーの志摩様、大滝様、本日は本当にありがとうございました。

今日は、さまざまな取組がうまく進んでいる事例についてお話を伺いましたが、その一方で、今日のお話の中では紹介されていない、これまでのさまざまなご苦労もたくさんあったのではな

いかと感じています。そうしたお話も含めて、改めて、地域で取組を進めていく上では、キーパーソンとなる人の存在が非常に重要だということを、皆さんも感じられたのではないかと思います。

また、今日の議論を通じて、前回よりも少しずつ、この跡地でどんなことをしていくのか、形が見えてきたのかなとも感じています。

まだ、具体的な形が固まったという段階ではありませんが、次回以降も議論を重ねながら、少しずつ形を進化させ、よりよい網野の未来につながるものを、皆さんと一緒につくっていければと思っています。引き続き、皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、以上をもちまして閉会のごあいさつとさせていただきます。本日は本当にありがとうございました。

<事務局>

山崎副委員長、ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、第2回京丹後市網野まちなか再生・活性化協議会を閉会させていただきます。本日は、ありがとうございました。

(1) A グループ

【込めた想い】 集まる、つながる、めぐる、広がる、未来につなぐ無限∞大 チャレンジ



(2) Bグループ

【キーコンセプト（案）】 気軽に集まれて、情報が集まる、まちが「見える」、安らげる場所

【込めた想い】 井丈さん（井丈商店）の井戸端会議みたいに気軽に人が集まり、話が弾み、町が見える（町のことが分かる）。そこで集まった情報を外向けに発信し、町に来てもらう。さらに移住してもらえれば人口が増える。

WORKSHEET ①
ワークシートのイメージ：キーコンセプトの方向性

【Bグループ】

【検討ボックス】 キーコンセプト（跡地がどんな場所になることを目指しますか？）

コンセプト

- 食が森山 (スライサー)
- 子供から高齢者まで集まる
- 気軽に立ち寄れる
- リフレッシュ出来る
- 寄り添う
- 一休が森山 安心、安全、快適な場所
- イベントが開催出来る

想い

- 芝生がアツク (スロー)
- 健康
- 趣味やが楽しめる (仲間)
- 来客が増える
- 昔の「森」のよう...
- 話しがはずむ
- ゆるゆる
- イベントが開催出来る
- 年代関係なく集まる場所

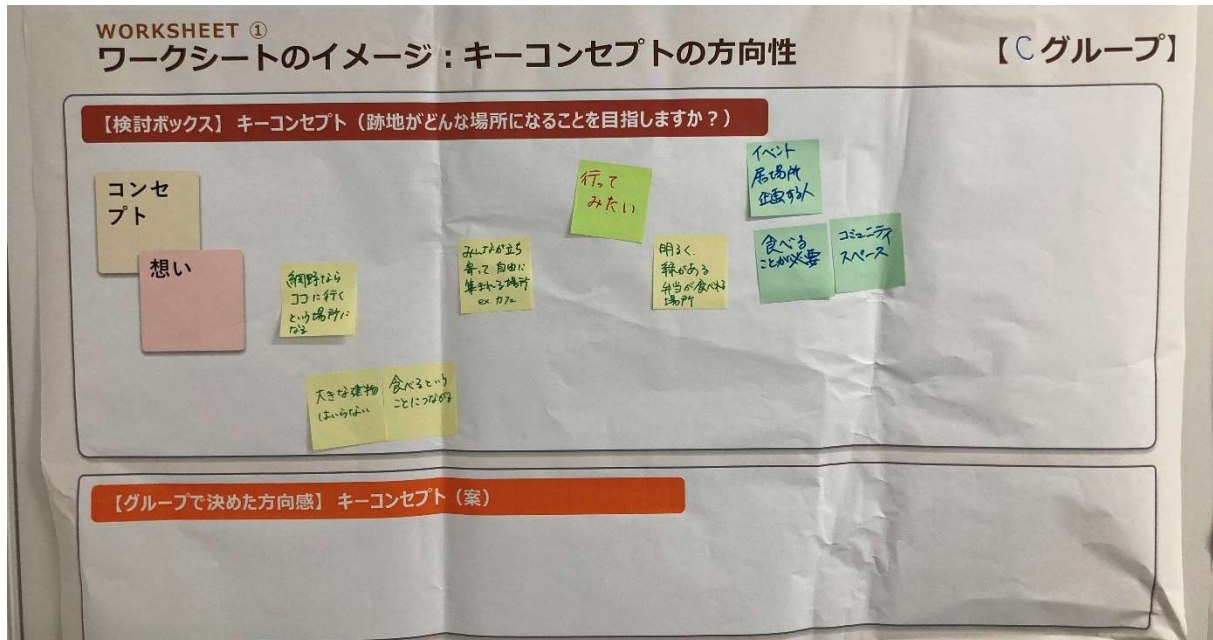
【グループで決めた方向感】 キーコンセプト（案）

- 気軽に集まる
- 井戸端会議グループが出来ると
- 情報が集まる
- 町が見える
- 安らげる場所
- 気軽に集まる
- 情報が集まる
- まちが「見える」
- 安らげる場所
- 交流

(3) C グループ

【キーコンセプト（案）】 人が集まれる場所で稼げる場所

【込めた想い】 雨でも晴でも人が集まれる場所がいいけど、地元の人だけでなく、よそからも人が来てビジネスでお金を落としてもらうことも大事。ビジネスチャンス、チャレンジできる場所



(4) D グループ

【キーコンセプト (案)】 ふらっと 縁むすび

【込めた想い】 誰もが気楽に、今日用事がなくても今日行く場所がなくても、気軽に好きな時に立ち寄れる。人に会える。人と会うことで何か発見がある。人が恋しい。

WORKSHEET ①
ワークシートのイメージ：キーコンセプトの方向性

【Dグループ】

【検討ボックス】 キーコンセプト (跡地がどんな場所になることを目指しますか?)

コンセプト

想い

縁むすび

ふらっと

あみの

和い

地域見守り

中心地

孤独感を

感じさせない

若い女性

集結場所

女性が集結する

場所

理由がなくても

行ける

場所

人と会って

何か発見

がある

人恋しい

子育て世代

高齢者が

集結する

場所

ふらっと

縁むすび

結婚相手

を

呼んで!

夏は涼しく

冬は暖かい

(場所)

2 ワーク②「利用シーンの検討」

各グループのキーコンセプトの方向性を踏まえ、利用シーンのアイデアを出し合った。

(1) Aグループ

WORKSHEET ②

ワークシートのイメージ：利用シーンの検討 【Aグループ】

各グループのキーコンセプト（案）

カタチのない居場所
トリニット

キーコンセプト（案）に込めた想い

集まる、つながる、めぐる、広がる未来につながる
無限の大 未来ビジョン

利用シーン（コンセプトから連想される具体的な光景）の検討

ヒント：平日・休日、朝・昼・夜など時間帯を変えてみると、いろんな場面が浮かびやすくなります
自分なら跡地で何ができるか、何をしたいか、浮かんだ利用シーンを、ふせんに書き出しましょう

① リフレッシュしたい
② 静かな場所
③ 日中
④ 運動はしたいが自由な感じ

⑤ お酒を飲みたい
⑥ 誰か
⑦ リラックス
⑧ 何かをしよう

⑨ 本屋の人に
⑩ 自分から
⑪ 仕事仲間
⑫ 2人
⑬ 友達と

⑭ お酒を飲みたい
⑮ 友達と
⑯ 友達と
⑰ 友達と

⑱ お酒を飲みたい
⑲ 友達と
⑳ 友達と
㉑ 友達と

㉒ お酒を飲みたい
㉒ 友達と
㉓ 友達と
㉔ 友達と

イラストレーション
されている
(夜に)

(2) Bグループ

WORKSHEET ②

ワークシートのイメージ：利用シーンの検討 【Bグループ】

各グループのキーコンセプト（案）

気軽に 情報や 本が 安げる
集まる 集まる 見込 場所

キーコンセプト（案）に込めた想い

利用シーン（コンセプトから連想される具体的な光景）の検討

ヒント：平日・休日、朝・昼・夜など時間帯を変えてみると、いろんな場面が浮かびやすくなります
自分なら跡地で何ができるか、何をしたいか、浮かんだ利用シーンを、ふせんに書き出しましょう

仕事が終わった後
ジョギングや
散歩
健康な
生活

休日の
朝に
リラックス
家族が
情報を
提供する
健康な
生活

子育て世代
が集まる
子育てに
関係する
毎日の
生活
健康な
生活

集まる人
(個人
や家族)
飲食店
の
健康な
生活

健康な
生活
運動
健康な
生活
健康な
生活

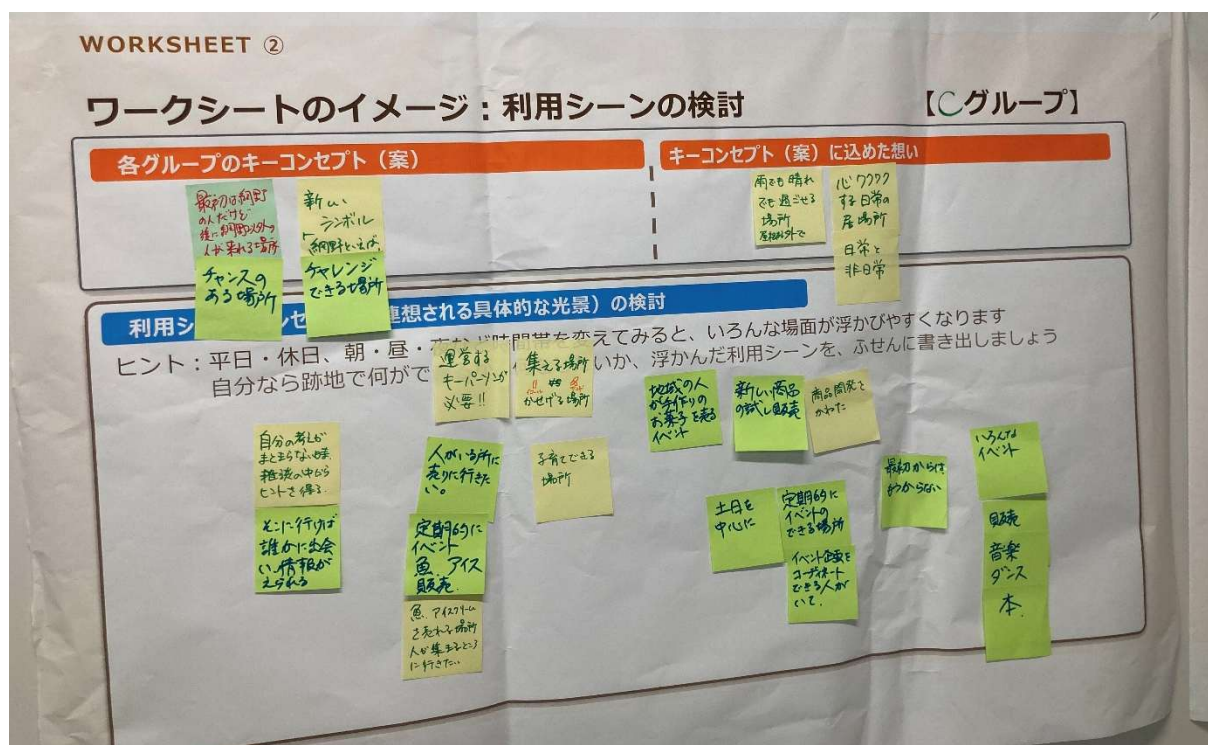
健康な
生活
運動
健康な
生活
健康な
生活

健康な
生活
運動
健康な
生活
健康な
生活

健康な
生活
運動
健康な
生活
健康な
生活

健康な
生活
運動
健康な
生活
健康な
生活

(3) Cグループ



(4) D グループ

